

## テーマ発表

### 患者本位の医療をめざして〈循環器検査領域での取り組み〉

#### テーマ発表をおこなうにあたって 座長集約

昭和大学病院  
滋賀医科大学附属病院

天内 廣  
中澤 靖夫  
横田 豊

#### テーマ1 患者被曝について

埼玉県立循環器・呼吸器病センター  
北里大学病院  
星総合病院  
鈴鹿中央総合病院

田島 修  
齋藤 岩男  
佐藤 政春  
荻野 豊

#### テーマ2 事故予防対策について

心臓血管センター北海道大野病院  
  
愛媛県立中央病院  
奈良県立医科大学附属病院  
九州大学医学部附属病院

横山 博一  
工藤 環  
成松 孝樹  
才田 壽一  
梅津 芳幸

#### テーマ3 スタッフ教育について

埼玉県小児医療センター  
弘前大学医学部附属病院  
新潟大学医学部附属病院  
国立療養所 刀根山病院

鍋倉 良三  
木村 均  
吉村秀太郎  
佐野 敏也

#### テーマ4 インフォームドコンセントについて

鹿児島生協病院  
金沢循環器病院  
津山中央病院  
東北大学医学部附属病院

藤橋 弘  
米沢 正雄  
枘山 博徳  
佐藤 州彦

## コ ン セ プ ト

会長 天内 廣

平成11年1月11日に全国を揺るがした、あってはならない医療事故が横浜で発生してしまいました。これを機に、「医療の安全性」と「患者本位の医療」に対する医療機関の在り方について、マスコミを中心に指摘されています。全国の医療機関では現在、各職場での職員教育や安全管理体制の見直しが行われていることと思います。

さて、この問題は研究会レベルでも大いに取り上げるべき問題と考えます。全ての医療職員は真摯にこの問題をとらえ、自らの職責と職務の中で、医療事故予防と患者の安全に万全を期すべき責任があると考えます。職場内でミスが多発する事例や事故実態を総点検し、「ミスは起こるもの」という認識の中からミスが未然に発見できるシステム作りや、組織的な事故予防対策、職員教育の在り方などについて各施設の取り組みや実態を情報交換することは重要なことと考えます。

こういった考えから、第14回全国循環器撮影研究会の学術研究発表会では、メインテーマを「患者本位の医療をめざして〈循環器検査領域での取り組み〉」と題し、全国各地の心臓血管・血管撮影室における事故事例の実態報告や安全対策の取り組み等についてパネル討論して頂くこととしました。

今回の討論や事例報告が、会員各位の問題認識と、明日からの医療事故予防に役立てていただければ幸いです。